

匠に教わる工作教室

令和8年

7月25日 土 ～ 8月16日 日 場所／吉兆 招福亭前 特設会場 10:00～17:00

※8月8日(土)を除く。

※主催者の判断により、内容に一部変更が生じる場合がございます。

※工作教室は、ご予約優先とさせていただきます。当日申し込みも随時受付いたしますが、予約状況により空席待ちや受付終了となる場合がございます。



予約フォーム

7/25 土・26 日
那智黒石
「勾玉磨き体験」1,200円
所要時間／約30分
講師／那智黒石協同組合

三重県指定伝統工芸品

那智黒石は、日本国内で唯一三重県熊野市神川町でのみ採石される天然石で、主に基石の黒石や硯石に使われています。那智黒石を磨いて、勾玉の形のペンダントを作りましょう。

磨けば磨くほど艶の出る那智黒石を、納得がいくまで磨いていただけます。



8/4 火
伊勢和紙
「紙漉き体験」
600円、柄入800円
所要時間／約15分
講師／大豊和紙工業株式会社

三重県指定伝統工芸品

8月4日は「和紙」の日！「神宮御用紙」に使われている伊勢和紙。

「紙漉き」で伊勢和紙を作る過程を体験してみましょう。



8/11 火・祝
伊勢紬刺し
「木札」1,200円、「めじるしチャーム・フクロウのクリップ」各1,500円
所要時間／約40分
講師／西川佐恵子(伊勢紬刺し 彩いち主宰)

日本の伝統刺繍技法 × 伊勢志摩の伝統染色技法

伊勢志摩の海女の安全祈願のおまじないにも使用されていた、貝染めの糸を使用し、日本刺繍の技法のひとつ「紬刺し」であしらったオリジナルアイテムを作りましょう。



8/14 金
藍染め
「ハンカチ染め」700円
所要時間／約30分

松阪木綿の「藍」

講師／ゆうづる会(松阪もめん手織り伝承グループ) 定員／1回につき6名様まで(限定60名様)

松阪木綿にも使われる、日本古来の染色技術・藍染を体験しましょう。真っ白なハンカチを輪ゴムで縛り、模様をつけます。縛り方によって、どんな柄になるかはハンカチを広げてからの楽しみ！

※15:00 受付終了



8/1 土・2 日
木工教室
「木時計づくり」1,600円
所要時間／約45分
講師／伊勢の匠会

伊勢の匠が集結！

伊勢の伝統工芸に携わる職人が集う「伊勢の匠会」。その匠会の職人たちが、各々の技を集結させて工具の使い方から指導します。【同日開催】かんな削り体験(無料)

※参加年齢6歳以上。(刃物を使うため、小学生の参加は保護者同伴でお願いします。)



8/7 金
伊勢擬革紙
「万華鏡づくり」1,300円
「ミニ手帳づくり」1,500円
所要時間／約30分
講師／参宮ブランド 擬革紙の会

三重県指定伝統工芸品

和紙の表面にしわや色をつけ、革のような風合いに加工し作られた擬革紙。その昔、革の代用品として用いられ、煙草入れなどとして流行しました。そのような擬革紙を使って、万華鏡やミニ手帳を作りましょう。



8/12 水
藤細工
「猫型小物入れづくり・小物入れづくり・アクセサリーづくり」各1,500円
所要時間／約60分
講師／玉屋藤工芸

「編む・結ぶ・巻く」体験

「藤」は丈夫で軽く、長持ちするのが特徴の植物です。曲線の加工もしやすく、立体的で自由なデザインが可能で、お子様でも気軽に体験していただけます。



8/15 土・16 日
木工細工
「箸づくり」800円
「豆皿づくり」1,100円
所要時間／約30～90分(内容によって異なる)

「削る・彫る」体験

講師／野嶋峰男(木漆工 公社日本工芸会正会員) カンナを使って木を削り、彫刻刀で彫って、自分の手に合った箸やオリジナルの豆皿を作りましょう。

※参加年齢6歳以上。(刃物を使うため、小学生の参加は保護者同伴でお願いします。)



8/3 月
しめ縄
「ミニしめ縄づくり」2,000円
所要時間／約20分
講師／株式会社 宮忠

伊勢の風物

伊勢に伝わる「蘇民将来」の伝承にちなみ、伊勢志摩地方では、しめ縄を厄除けとして一年中玄関に掲げる風習が深く根付いています。自分の手で玄関や神棚にお使いいただけるしめ縄を作りましょう。

長さ50～60cmのしめ縄を作成していただけます。

【同日開催】火打石・盛り塩体験(無料)



8/9 日・10 月
伊勢一刀彫
「干支彫り(未)」1,500円
所要時間／約60分
講師／岸川行輝(木彫 伊勢一刀彫)

三重県指定伝統工芸品

お伊勢参りのお土産としても人気の伊勢一刀彫。匠に教わりながら、力強く大胆に彫って、来年の干支(未)を作りましょう。

※参加年齢6歳以上。(刃物を使うため、小学生の参加は保護者同伴でお願いします。)



8/13 木
伊勢根付
「ペンダントトップづくり・ストラップづくり」各1,500円
所要時間／約30～90分
講師／伊勢根付彫刻館

三重県指定伝統工芸品

江戸時代、帯に挟み、巾着や煙草入れの留め具の役割があった根付。伊勢根付は、お伊勢参りの土産物として人気を博しました。木の宝石といわれる朝熊黄楊を使い、ペンダントトップやストラップを作りましょう。



【期間中の体験】
7/27 月～31 金
第一次お木曳行事記念
「木曾ヒノキの箸づくり体験」1,000円
所要時間／約15分

神宮の御用材に用いられる「木曾ヒノキ」。木曾ヒノキを使って、自分の手に合った箸を作りましょう。

8/5 水・6 木
経済産業大臣指定伝統工芸品
「伊勢型紙で染める巾着づくり」700円
所要時間／約20分
三重県鈴鹿市で受け継がれる「伊勢型紙」を使って、生成り色の巾着を型染めしましょう。小物を入れてお使いください。

いにしへの伊勢の伝統工芸
～伊勢市歴史博物館の出張展示～

伊勢に伝わる伝統工芸品のうち、伊勢市の収蔵資料を展示。工芸品が培われた歴史背景に迫ります。

場所／伊勢路 名産味の館2階「大黒ホール」

協力／伊勢市歴史博物館



伝統工芸品に詳しくなろう！

工芸品クイズ

店内にあるPOPに答えが載っているよ。
全部答えがわかったら、伊勢路 名産味の館2階「大黒ホール」へ！
ささやかなプレゼントをお渡しします。
※お一人様一つまで。各日先着50名様。なくなり次第終了。

【第1問】

答えは
神路屋

伊勢擬革紙

和紙の表面にしわや色をつけ、革のような風合いに加工し作られた「擬革紙」。昔は革の代用品として用いられ、主に何を入れて使われていたでしょう。

1. そろばん
2. たばこ
3. さいころ

【第2問】

答えは
もめんや藍

松阪もめん

松阪もめんは、繊細な模様が特徴で、江戸時代には「粋なおしゃれ」として流行しました。その松阪もめんによく使われる定番の模様・柄は何でしょう。

1. 縞模様
2. 水玉模様
3. 星柄

【第3問】

答えは
大黒ホール

那智黒石

那智黒石は日本で唯一三重県でのみ採石される天然の鉱石です。それは三重県のどこでしょう。

1. 伊勢市宇治中之切町
2. 多気郡大台町
3. 熊野市神川町

伊勢内宮前
おかげ横丁

おかげ横丁総合案内 TEL 0596-23-8838

主催／株式会社伊勢福 後援／伊勢市、伊勢市教育委員会

伊勢の匠展

令和8年

7月25日 土 ～ 8月16日 日

場所／伊勢路 名産味の館2階「大黒ホール」10:00～17:00



詳しくはこちら

かつて、お伊勢参りの旅をしてきた人々は神宮参拝を終えると、伊勢に来た証として、この地ならではの土産物を求め、持ち帰りました。
伊勢路には歴史の中で育まれ、普段の暮らしに溶け込んだ伝統工芸品が数多く残っています。
匠展では、匠と呼ばれる職人たちが、ひとつひとつの手仕事でものづくりをした作品をご紹介します。
暮らしを豊かに彩る素敵な一品が見つかりますように、伊勢路に伝わる工芸品の数々をご覧ください。



伊勢和紙 (大豊和紙工業株式会社)



伊勢一刀彫 (岸川行輝)



伊勢型紙



伊勢玩具 (畑井商店)



伊勢擬革紙 (参宮ブランド擬革紙の会)



伊勢春慶 (伊勢春慶の会)



伊勢提灯 (岩田提灯)



伊勢根付 (伊勢根付彫刻館)



伊勢木綿



伊勢紬刺し (西川佐恵子)



市木木綿



漆塗り (伊勢瓢さおり)



漆器 (野島峰男)



神殿 (伊勢 宮忠)

今はなき伊勢の伝統工芸品



籐細工 (玉屋籐工芸)

今はなき伊勢の伝統工芸品



那智黒石 (那智黒石協同組合)

今はなき伊勢の伝統工芸品



松阪木綿 (ゆうづる会 松阪もめん手織り伝承グループ)



和釘 (久住商店)



浅沓



山田傘



竹笛